



\*2017年1月(第3版)(新記載要領に基づく改訂)  
2014年5月(第2版)

医療機器認証番号: 225ABBZX00173000

歯科材料 02 歯冠材料  
管理医療機器 歯冠用硬質レジン 70811020

## セシード® N

### 【禁忌・禁止】

本品又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】 【構成】

構成品名	形状	組成
ボディレジン	ペースト	モノマー(ウレタン系メタクリレート、その他のメタクリル酸系モノマー)、フィラー(表面処理有機複合フィラー、表面処理ハリウムガラス、表面処理シリカフィラー)、光重合触媒、着色剤、その他
オペークレジン	ペースト	モノマー(Bis-GMA、TEGDMA、その他のメタクリル酸系モノマー)、表面処理ハリウムガラスフィラー、光重合触媒、着色剤、その他
カラーコート <sup>1)</sup>	液体	モノマー(多官能アクリレート、MMA)、表面処理シリカ系マイクロフィラー、光重合触媒、着色剤、その他
リペアークリッド <sup>2)</sup>	液体	モノマー(ウレタン系テトラメタクリレート、MDP、その他のメタクリル酸系モノマー)、光重合触媒、その他
オペークプライマー <sup>3)</sup>	液体	モノマー(MDP、その他のメタクリル酸系モノマー)、化学重合触媒、溶剤、その他
カラーコートプライマー <sup>4)</sup>	液体	シランカップリング剤、モノマー(MDP)、エタノール
付属品	—	小筆(S)、小筆(SO)、混和皿(EPR)、混和皿(TM)

\*本品に同梱されている構成品等についてはパッケージの記載をご参照ください。

- 1) レジン表面の滑沢性付与、色調調整及びキャラクタライズに用いる。
- 2) 予備重合したボディレジンに塗布し、積層するボディレジンとのなじみを良くする場合や、重合したボディレジンを形態修整後、追加修正・補修する場合に用いる。
- 3) 金属とオペークレジンとを接着するため及びオペークレジンの硬化を促進するために用いる。
- 4) ボディレジンとカラーコートとを接着するために用いる。

### 【色調】

構成品名	色調
ベースマテリアル	BASE
トランスルーセント	To、TN、TE1、TE2
エナメル	E1、E2、E3、E4
ボディレジン	A1B、A2B、A3B、A3.5B、A4B、B1B、B2B、B3B、B4B、C1B、C2B、C3B、C4B、D2B、D3B、D4B、UB、WB
オペークレジン	OBA1、OBA2、OBA3、OBA3.5、OBA4
エフェクト	TB、CW、CCV、CE、SB
歯肉色	Tissue1、Tissue2
サービカル	CV1、CV2、CV3、CV4、CV5、CV6、CV7、CV8

構成品名	色調
プレオペーク	PO
オペークレジン	A10、A20、A30、A3.50、A40、B10、B20、B30、B40、C10、C20、C30、C40、D20、D30、D40、U0、W0
オペークレジン	IO、P、W
カラーコート	A+、B+、C+、クリアー1、クリアー2、ホワイト、サービカル1、サービカル2、インサイザルブルー2

### 【原理】

ボディレジン、オペークレジン、カラーコート及びリペアークリッドは、可視光線光エネルギーにより重合硬化する。オペークプライマーは還元剤により化学重合反応する。カラーコートプライマーは、光触媒存在下で可視光線光エネルギーにより重合反応する。

\* (ボディレジンの該当規格: JIS T 6517 (第3種光重合型) こう合面に使用可能)

\* (オペークレジンの該当規格: JIS T 6517 (第3種光重合型))

### 【使用目的又は効果】

前装冠、ジャケット冠及びブリッジによる歯冠修復又は暫間被覆冠等の製作若しくは口腔内外での人工歯冠の補修に用いる。

### 【使用用途】

- 1) 前装冠の製作
- 2) ジャケット冠の製作
- 3) 人工歯冠(歯科用陶材、無機物フィラーを含むレジン系材料)の補修

### 【使用方法等】

併用する材料について  
本品と併用する材料は以下のとおりです。

- \* (1) リン酸エッチング材  
歯科用エッチング材(例えば「K エッチャント シリンジ」)
- (2) 金属接着性プライマー  
歯科金属用接着材料(例えば「アロイ プライマー」)
- \* (3) セラミックス処理材  
1) 歯科セラミックス用接着材料(例えば「クリアフィル セラミック プライマー プラス」)  
2) 歯科セラミックス用接着材料「クリアフィル ポーセレンボンド アクティベーター」と下記の材料のいずれか1つとの等量混和液  
歯科用象牙質接着材  
・「クリアフィル トライエスボンド ND クイック」、  
「クリアフィル ボンド SE ONE」、  
「クリアフィル メガボンド」のプライマー  
医薬品含有歯科用象牙質接着材  
・「クリアフィル メガボンド FA」のプライマー
- (4) レジン分離材(「ジャケットスパーサー」、  
「マージンセップ」)

### 【光重合器と照射時間】

\* 本品の重合に使用する光重合器と照射時間は以下のとおりです。下記に示す光重合器以外は使用しないでください。

歯科技工用 重合装置	オペークレジン		ボディレジン		カラー コート
	PO	その他	予備重合	最終重合	
アルファライトV <sup>1)</sup>	10	30	10	90	30
アルファライトIII <sup>1)</sup> アルファライトIIIN <sup>1)</sup> アルファライトII <sup>1)</sup>	30	90	20	180	90

取扱説明書を必ずご参照下さい。

- 1) 製造販売元：株式会社モリタ東京製作所  
 一般医療機器 歯科技工用重合装置  
 アルファライトV 医療機器届出番号 11B2X00071000027  
 アルファライトIII 医療機器届出番号 11B2X00071000021  
 アルファライトIIN 製造業許可番号 11BZ0106  
 アルファライトII 製造業許可番号 11BZ0106

照射時間(秒)

歯科重合用 光照射器	オペークレジン		ボディレジン		カラーコート	
	PO	その他	予備 重合	最終 重合	クリアー2 ホワイト	その他 (クリアー1 を除く) <sup>3)</sup>
J E T ライト 3000 <sup>2)</sup>	10	20	10	20	10	60

- 2) 製造販売元：株式会社モリタ  
 一般医療機器 歯科重合用光照射器  
 JETライト 3000 医療用具許可番号 27BY0028

\*3) カラーコートの「クリアー1」には、JETライト 3000は使用できません。

### レジンの塗布・築盛方法の選択

下記の何れかを選択してご使用ください。

#### ワンボディシステム

オペークレジン(UO又はWO)を塗布し、ボディレジン(UB又はWB)を築盛・重合した後、形態修整を行い、研磨のかわりにカラーコートにより仕上げる方法

#### マルチカラーシステム

目的のビタシェードを表現するためにオペークレジン(UO、WO以外)とボディレジン(UB、WB以外)を積層・重合した後、形態修整を行い、研磨により仕上げる方法

### 使用方法1.前装冠の製作

- 1) 作業用模型の製作  
 通法にしたがい作業模型を製作します。
- 2) メタルフレームの製作
  - 1.ワックスアップ  
 作業用模型にワックス分離材を塗布し、ワックスで歯冠形態を回復します。
  - 2.カットバック  
 前装する部分のカットバックを行います。本品は、強度、耐摩耗性、金属接着性に優れるため、切縁部、隣接部はメタルで被覆せずレジンで回復する形態にします。
  - 3.リテンションピースの付与  
 前装面に粘着剤を塗布して、リテンションピースを振りかけ、ワックスパターンを完成します。ワックスパターンは、粒径100~200 $\mu$ mの球状のリテンションピースをご使用ください。
  - 4.メタルフレームの完成  
 通法にしたがい鋳造を行った後、鋳造体の適合性のチェック、仕上げを行ってメタルフレームを完成します。
- 3) 前装面のサンドブラスト処理  
 約50 $\mu$ mのアルミナ粒子を用いてサンドブラスト処理を行います。続いて、2分間の超音波洗浄又はスチームクリーナーにて洗浄し乾燥させます。
- 4) 貴金属合金を使用する場合  
 金属接着性プライマーを小筆でメタルフレームの前装面に塗布し、自然乾燥させます。
- 5) オペークレジンの塗布・重合
  - 1.オペークプライマーの塗布・乾燥  
 小筆でメタルフレーム前装面に塗布した後、エアーを軽く吹きつけるか、30秒間自然乾燥して揮発成分を蒸散させます。
  - 2.プレオペークの塗布・重合  
 平筆でメタルフレーム前装面に塗布し、「光重合器と照射時間」にしたがって重合します。
  - 3.ボンティック部の穴埋め  
 ボンティック部にボディレジン(ベースマテリアル)を築盛し、前装スペースを揃えます。築盛後、「光重合器と照射時間」にしたがって重合します。
  - 4.オペークの塗布・重合  
 ワンボディシステムの場合：UO又はWOを使用します。  
 マルチカラーシステムの場合：UOとWO以外を使用します。  
 オペークは、重合したプレオペーク及びベースマテリアルの上に、オペークプライマーを塗布・乾燥させた後、塗布し、「光重合器と照射時間」にしたがって重合します。オペークプライマーとオペークの塗布・重合は、金属、プレオペーク及びベースマテリアルの色が隠れるまで同じ操作を繰り返してください。

※色調調整、キャラクタライズが必要な場合

オペークにオペークモディファイヤーを混合するか、重合したオペークにオペークプライマーを塗布後、オペークモディファイヤーを塗布するか又はカラーコートを単独で塗布し「光重合器と照射時間」にしたがって重合します。

### 6) ボディレジンの築盛・予備重合

#### ワンボディシステムの場合

1.ボディ(UB又はWB)を築盛し歯冠形態を回復します。

#### マルチカラーシステムの場合

1.サービカルの築盛・予備重合  
 マージン部から歯冠長の歯頸部寄り1/4~1/5に向かって薄くなるように築盛し、「光重合器と照射時間」にしたがって、予備重合します。

2.ボディの築盛・予備重合

歯冠の基本的な色調を再現するように築盛し、「光重合器と照射時間」にしたがって、予備重合します。

3.エナメルの築盛・予備重合

歯冠長の切端寄り1/5~1/6に薄く築盛し、「光重合器と照射時間」にしたがって、予備重合します。

4.エフェクト、歯肉色の築盛・予備重合

必要に応じて、個性的な色調再現や歯肉色を再現する場合に築盛します。「光重合器と照射時間」にしたがって、予備重合します。

5.トランスルーセントの築盛

歯冠長の切端寄り1/2に薄く築盛します。

※必要に応じて、積層するボディレジンとのなじみを良くするために、予備重合したボディレジンにリペアーキッドを塗布します。

※色調調整、キャラクタライズが必要な場合

各層の予備重合後に、カラーコートを塗布し、「光重合器と照射時間」にしたがって重合します。また、形態の調整等を行った場合には、カラーコートプライマーを塗布し、乾燥させた後にカラーコートをご使用ください。

### 7) ボディレジンの最終重合

コンタクト部分にボディレジンを築盛した後、「光重合器と照射時間」にしたがって、最終重合を行います。

### 8) 形態修整

カーバイトバー、カーボランダムポイント等により、形態修整を行います。

### 9) 仕上げ、研磨

#### ワンボディシステムの場合

##### 1.レジン表面の粗造化

ペーパーコーンや粗めのシリコンポイント等で表面を粗造化します。同時にメタルとの移行部をスムーズに仕上げます。

##### 2.洗浄

スチームクリーナー又は超音波洗浄器等でレジン表面を洗浄し乾燥させます。

##### 3.カラーコートの塗布

カラーコートプライマーを塗布し乾燥させます。次にカラーコートを混和皿に適量滴下し、筆等を用いてレジン表面に薄く塗布し「光重合器と照射時間」にしたがって重合します。

#### マルチカラーシステムの場合

##### 1.仕上げ

シリコンポイント等で、レジン表面についたカーボランダムの圧痕を落としながら形態を整え、同時にメタルとの移行部をスムーズに仕上げます。

##### 2.研磨

ブラシ、布パフ等に研磨剤をつけ、研磨・艶出しを行います。研磨操作の代わりにカラーコートを使用することもできます。

※口腔内の場合、カラーコートのクリアー1は使用できません。

### 10) 追加修正・補修

#### 1.追加修正・補修部分の新鮮面出し

カーボランダムポイント等で追加修正・補修部分を削り、新鮮面を出します。切削粉はエアブローで除去します。

#### 2.リペアーキッドの塗布

新鮮面に小筆でリペアーキッドを薄く塗布します。

#### 3.ボディレジンの追加築盛・重合

「上記6)、7)」と同様に行い最終重合します。

※口腔内の場合、カラーコートのクリアー1は使用できません。

#### 4.形態修整、仕上げ、研磨

「上記8)、9)」と同様に行います。

※口腔内の場合、カラーコートのクリアー1は使用できません。

## 使用方法2.ジャケット冠の製作

### 1) 作業用模型の製作

歯型の分割、トリミングを行って作業用模型を完成します。トリミングの際にマージン下部にアンダーカットがあるとクラウン脱型時に石膏が破折する場合がありますので、削りすぎた場合にはワックスでブロックアウトしておきます。

### 2) レジン分離材の塗布

#### 1. ジャケットスパーサーの塗布・乾燥

ジャケット冠の脱型を容易にするため、支台歯のマージン部を除く部分に塗布し、自然乾燥又はマイルドなエアブローで乾燥させます。

#### 2. マージンセップの塗布・乾燥

支台歯のマージン部に塗布し、自然乾燥又はマイルドなエアブローで乾燥させます。

### 3) オペークレジンの塗布・重合

「使用方法1の5)」と同様に行います。

### 4) ボディレジンの築盛・重合

「使用方法1の6)、7)」と同様に行います。

### 5) ジャケット冠の脱型、適合の確認

支台模型からジャケット冠を脱型した後、支台歯又はジャケット冠内面に付着したジャケットスパーサーを除去し適合を確認します。

### 6) 形態修整、仕上げ、研磨

「使用方法1の8)、9)」と同様に行います。

### 7) 追加修正・補修

「使用方法1の10)」と同様に行います。

**\*口腔内の場合、カラーコートクリアー1は使用できません。**

## 使用方法3.人工歯冠(歯科用陶材、無機物フィラーを含むレジン系材料)の補修

**\*JETライト 3000を使用する場合には、重合する面積に応じて数回に分けて重合してください。**

**\*口腔内の場合、カラーコートクリアー1は使用できません。**

### 1) 破断面の整形

ダイヤモンドポイント等で一層削除し、辺縁部にはベベルを付与します。金属が露出している場合には、その表面をフィッシャーバーなどで粗造にしておきます。

### 2) 破断面のセラミックス処理

リン酸エッチング材を添付文書にしたがって塗布し、5秒後に水洗し、乾燥させます。金属面が露出している部分は、金属接着性プライマーを添付文書にしたがって塗布し自然乾燥させてください。次に、レジン面にセラミックス処理材の添付文書にしたがって処理を行います。

### 3) オペークレジンの塗布

「使用方法1の5) 1. オペークプライマーの塗布・乾燥、4. オペークの塗布・重合」と同様に行います。

### 4) ボディレジンの築盛・重合

「使用方法1の6)、7)」と同様に行います。

### 5) 形態修整、仕上げ、研磨

「使用方法1の8)、9)」と同様に行います。

## 〔使用方法に関連する使用上の注意〕

### 本品に関する使用上の注意

- ボディレジン同士或いはボディレジンと他の材料を混ぜて使用しないこと。
- ボディレジン及びオペークレジンは、使用後にシリンジ先端部に付着したペーストを綿球等でふき取ってから速やかにキャップを装着すること。
- オペークプライマー、カラーコート及びカラーコートプライマーは揮発成分を含むことから、塗布直前に混和皿等に採取し速やかに使用すること。使用後は速やかにキャップを装着すること。
- カラーコートは採取後3分以内に使用すること。
- ボディレジン及びカラーコートは、窓際又は技工・診療用ライト直下等の明るい場所で使用すると硬化することがあるので、窓際の自然光は避け、ライトの光量を下げるなどの回避処置を行うこと。
- オペークを重ねて塗布する場合は、重合したプレオペーク、オペーク又はベースマテリアルの上に必ずオペークプライマーを塗布し、乾燥させてからオペークを塗布すること。
- オペークプライマーとオペークを塗布する筆は、同じ筆を用いるとオペークが硬化し筆が使えなくなるため、使い分けること。使用後は、速やかにエチルアルコール又は即時重合レジンのモノマー液で洗浄すること。
- カラーコート「クリアー1」には、JETライト 3000は使用できないため、歯科技工用重合装置を使用すること。**

9. カラーコートは、分離する必要があるため使用前にボトルをよく振ってから採取すること。

10. カラーコートを塗布する筆は専用とし、他の用途の筆と共用しないこと。また、カラーコートに埃等の異物が混入することを避けるため、使用した筆はエチルアルコール又は即時重合レジンのモノマー液で十分に洗浄すること。

- カラーコートを塗布する筆は、毛先が開いている筆や荒れた筆を用いると気泡混入の原因になるため、毛先が整った筆を使用すること。また、塗布はできるだけ埃の少ない場所で行うこと。
- カラーコートのレジン表面からの剥離を防ぐため、レジン表面をダイヤモンドポイント、ペーパーコーン或いは粗めのシリコンポイント等で粗造化すること。
- 形態修整後の追加修正やカラーコートを塗布する場合には、レジン切削粉や油などの付着がないようあらかじめ清掃しておくこと。
- カラーコートの色調及び表面滑沢性は永久的に持続しないため、必要により再処理を行うこと。また、その旨を患者に説明すること。
- ジャケット冠を脱型できないことや石膏模型が破折することを避けるため、専用のレジン分離材を使用すること。
- マージンラインからはみ出してペーストを築盛すると脱型できなかったり、石膏模型が破折することがあります。築盛の際にはペーストがオーバーマージンにならないように気をつけること。オーバーしているところがあれば、脱型前にあらかじめ削り落としておくこと。

## 光重合器に関する使用上の注意

**\*1. 「光重合器と照射時間」で指定する光重合器以外は使用しないこと。**

**\*2. JETライト 3000を使用する場合、硬化させる面積が照射器の口径より大きい場合には、分割照射を行うこと。**

## 〔使用上の注意〕

### 〔使用注意〕

- 本品を誤飲させないように注意すること。
- カラーコートを使用する際は、適切な換気がなされている場所で使用すること。
- 口腔内で使用した場合、感染防止のため、採取した本品及び小筆等の塗布器具の患者間での交差使用は避けること。
- 口腔内の場合、カラーコートクリアー1は使用できません。**

## 〔重要な基本的注意〕

- 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、専門医の診断を受けさせること。
- 本品との接触による過敏症状の予防のため、使用者は手袋等を用いて直接本品に触れないようにすること。特に未硬化物との接触は避けること。本品の使用により過敏症状を起こした場合には使用を中止し、専門医の診断を受けること。
- 本品が口腔内軟組織や皮膚に付着したり、目に入らないように注意すること。飛散液から患者を保護するため、眼部をタオル等で覆うこと。
- 本品が口腔内軟組織や皮膚に付着した場合は、アルコールを含んだ綿球やガーゼでふき取り、ただちに大量の水で洗浄すること。また、目に入った場合は、ただちに多量の水で洗浄し眼科医の診断を受けさせること。
- カラーコートの未重合物を口腔軟組織に付着したまま放置するとカラーコートに含まれる多官能アクリレートにより“かゆみ”或いは“痛み”などの症状或いは“水疱”が生じる恐れがあるので、カラーコートは確実に照射すること。未重合物が表面に残っている場合は乾いたワッテ又はガーゼ等で拭きとること。
- 本品の形態修整、仕上げ及び研磨を行う際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所集塵装置、防護用シールド或いは公的機関が認定した防塵マスク等を使用し、粉塵との接触を避けること。

## 〔保管方法及び有効期間等〕

### 〔保管方法〕

- 本品は2～25℃で、直射日光を避けて保管すること。
- オペークプライマー、カラーコート及びカラーコートプライマーは可燃性です。火気の近くでの使用、保管は避けること。

### 〔使用期限〕

- 製造日から48ヶ月。
- 本品に記載の※使用期限までに使用すること。

※(例 Exp.  2020-10-31 は 使用期限2020年10月31日を示す。)

## 〔製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等〕

### 製造販売元

#### クラレリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28  
フリーダイヤル：0120-330922

### 販売元

#### 株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL (06) 6380-2525  
〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL (03) 3834-6161

「セード」、「クリアフィル」、「メガボンド」、「クリアフィル トライエスボンド」及び「SE ONE」は株式会社クラレの登録商標です。